

今回も元気な活動を大追跡
田中やすのりおっかけ新聞

田中やすのり 区議会レポート

www.tanaka-yasunori.jp

2020年3月発行 Vol.41

議会！
トピック

2019
1/29 他
ON LIVE

**新年度予算が発表！
過去最大の予算規模**
板橋区役所

区の貯金とも言える財政調整基金を 大きく切り崩して予算をどうにか編成

板橋区の歳入の3割を占め、屋台骨とも言える特別区交付金は41億円も減収を予定しています。国による地方法人課税の税制改正の影響です。さらに、ふるさと納税の影響もあり、特別区税の減収分が17億円を超える見込みで、財政難に追い打ちをかけます。しかし一方では、待ったなしの保育所待機児童対策のための私立保育所運営経費や障がい者の自立支援給付費などの福祉費が約25億円もの増加を見込みます。こうした状況から、一般のご家庭では貯金とも言える財政調整基金を50億円切り崩すことで、歳入補填に充てます。



1



2



3



4

- ① 今年度は健康福祉委員として常任委員会にて審議。議案や陳情の審査のほか、新年度予算の健康福祉分野についても専門的に議論してきました。
- ② 1/15：東上線連続立体化調査特別委員会として、西武線の江古田駅の橋上化について視察を行う。西武鉄道の取組も参考に、区に提言を行う。
- ③ 1/15・2/6：二日間にわたり東武東上線の区内踏切の現地調査を行う。下板橋駅から成増駅まで計37個の踏切の危険度を確認する。
- ④ 2/20：河野ゆうき前・都議が事務局長を務める日本障害者就労支援事業所協会の総会・講演会に参加。当日の情報交換を基に予算委員会にて就労定着事業の改善策を提言。

要望が
実る
**Itabashi
Dreams
come true**

**あったらいいな！できたらいいな！を実現
～きめ細やかに地域の要望に耳を傾けていきます～**



赤塚
3丁目

赤塚3丁目29-30番付近
区道の補修でデコボコが解消



ダイエー
管理歩道

ダイエー閉店で通行不可となった
自主管理歩道における木の伐採が完了



東武線
沿い

東武鉄道のご尽力で自転車の
駐輪スペース整備が実現

みなさんのご意見・ご要望をお気軽にお聞かせください。



1

学校体育館に冷暖房機



いつ発生するかわからない大災害に備えて、避難所となる屋内運動場(体育館)の環境改善が必要です。また、近年の猛暑・酷暑による熱中症対策としても、冷暖房機の設置が求められてきました。

※設置を求める過去の質疑は左記をご覧ください。

令和3年度までに2年かけて区立の全小中学校の屋内運動場(体育館)に冷暖房機を設置します。設置にあたっては、災害時の避難所として開設率の高い学校などを優先して進められます。令和2年度は小学校25校、中学校9校に設置予定です。

先行して設置した冷暖房機の効果検証の結果に基づいて、スポット式冷暖房機の設置となります。スポット式冷暖房機は室内に気流が生じることから、運転開始時から涼しさを感じることができます。なお、高効率大型ファンを搭載した室内機を採用。大風量による省エネルギーで温度調整を実現します。

予算 1,600万円 ※令和13年度までのリース契約総額 18億2,300万円

一般質問 2019.9.26

Q：避難所となる未設置校への冷暖房設備の設置検討を求めます。

A：区の財政状況を勘案しつつ、区長部局と調整し、なるべく早期に方針を決定したい



代表質問 2019.3.6

Q：冷暖房設備を設置について、今後の展望についてお示ください。

A：効果検証の結果を踏まえ、財政状況等も勘案しつつ、対応を検討してまいりたい



2

発達障がい者支援センター

相談支援
社会参加支援
家族支援



概ね16歳以上の発達障がい者の自立及び社会参加に向けて、総合的な支援を行う拠点として、支援センターを開設。区の関係部署も組織横断的に連携し、ライフステージに合わせ、切れ目のない支援体制を構築していく。

予算 3,767万円

3

コミュニティスクール



ついに区立の全小中学校で本格的にコミュニティ・スクールがスタート。地域とともにある学校へと転換を図ります。多様な学びの機会の創出や教員が子どもたちと向き合う時間を増やすなど、教育活動の充実を実現します。

予算 3,006万円

4

オリンピックパラリンピック



東京2020大会実施に向けて、公園や体育館の改修など、区民の誰もが楽しめるスポーツ環境の整備を行ってきました。ついに地域スポーツの拠点となる「あずさわスポーツフィールド」がグランドオープンします。

予算 9,964万円

5

災害に強い避難所



ライフラインの一つとなったスマートフォン等のポータブルバッテリーを配備し、Wi-fi環境も整備することで、停電時でも避難者がリアルタイムで情報収集・発信できるようになります。避難所の質を高めていきます。

予算 4,957万円